

1. 件名：日本核燃料開発株式会社の防災訓練実施結果報告書
（案）の概要説明について
2. 日時：令和3年4月16日（金）14時00分～15時30分
3. 場所：茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官
日本核燃料開発株式会社
部長代理
5. 要旨
日本核燃料開発株式会社より、3月2日（火）午後に実施された防災訓練の訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
訓練は、地震の発生を起因とし、燃料検査プール内の燃料集合体が破損し、FPガス（核分裂生成物）が放出されることにより原災法第10条及び第15条に該当する事象への、実効的な対応能力の向上を目的として実施された。
昨年度の総合防災訓練での検討事項に関して有効な改善策を案出し、事前に教育や個別訓練を行い、本年度の総合防災訓練においては、防災組織が有効に機能し、円滑に活動が行われたことが確認された。
特に、防災本部内の各種表示方法に関して継続的な工夫が施されていた。また、事前の教育や要素訓練により、各勤務者が自己の実施すべき業務に習熟していることが確認できた。
6. その他：配布資料なし